

令和3年度 今治市野間馬ハイランド指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市野間馬ハイランド
所在地	今治市野間甲8番地
指定管理者	<p>名称 野間馬保存会</p> <p>代表者 会長 大澤 譲児</p> <p>住所 今治市阿方甲246番地1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部 交流振興局 観光課</p> <p>TEL:0898-36-1541</p> <p>E-mail:kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	施設の設置目的や管理運営の基本方針を十分理解して、指定管理者業務を実施しました。	A	適正に業務が実施されており、平等な利用の確保や施設の設置目的に沿った管理運営がなされている。
利用状況	B	利用者の減少はGW等、繁忙期にオミクロン株感染拡大防止の為、乗馬とモルモット触れ合いを休止したことが大きい。しかし、コロナ禍でも屋外ということ、コロナ禍2年目ということで、一年を通して利用者はいた。特に1月の河津桜の時期は多くの利用者で賑わったが、休館期間の影響で、年間では昨年の約87%となった。4月から7月、10月から1月は前年対比は約142%であった。	B	コロナ禍において当施設は密を避けられる屋外であることを考慮しても、年間で利用者が令和2年度よりも増加しており、指定管理者としての管理運営について評価できる。 引き続き、感染症対策を徹底した利用体制を整えるとともに、感染拡大防止のために現在中止している乗馬体験の再開に努めていただきたい。
事業収支	A	野間馬保存会の経理に関しては、越智今治農業組合乃万営農センター長が担当しており、会計帳簿の整理や会計伝票の作成、印鑑の管理などを適切に行った。また、収支計画に基づいて予算執行を行い、資金調達においても余裕をもって対応できた。	A	各協会等との連携に取り組み、収入増に務めている。計画的及び臨機応変に修繕業務を実施するなど、適正な予算執行が行われており、評価できる。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	B	維持管理業務について一定水準の取り組みを行った。外部研修は1名が調教指導を受け、内部では削蹄の技術研修を実施した。	B	業務の運営に支障の無いようローテーションが組まれているとともに、障がい者雇用の前向きな取り組みなど、職員配置について適切に対応が来ている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修内容に制限がある中、内部研修の実施や外部研修を受講するなど、研修体制についても評価できる。
管理運営業務	A	一定水準の取り組みを行っているが、特に植栽管理及び清掃管理業務については、職員全員で積極的に取り組んでおり、管理運営の基本方針にあるとおり、清潔感のある人の目が行き届いた公園を目指して実施した。	A	職員一丸となって公園を管理しており、手入れが行き届いていることは高く評価できる。 コロナ禍において、当施設は公園利用としても利用者が増えてきている印象があることから、来園者にとって憩いの場となるよう、今後も公園管理を徹底していただきたい。
利用業務	B	コロナで遠足など団体のお客様が利用できない状況であったが、利用されるお客様には丁寧に対応した。また、無料の観光雑誌に情報掲載、ホームページで更新の頻度をあげて野間馬ハイランドを紹介する様に努めた。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ちびっこのまうま祭りを開催できなかったのは残念であるが、無料広告への掲載やメディア等への取材対応を積極的に受け入れるとともに、ホームページ更新の頻度を増やすことで、野間馬ハイランドのPRに努めたことは評価できる。 今後も、ホームページの更新については回数をさらに増やし、SNSを積極的に活用するなど、今後も施設のPRを図っていただきたい。
飼育管理業務	A	鹿児島大学、岡山理科大学に指導をいただきながら健康管理を行った。 馬にストレスが少なく健康に生活できる環境を考えて、飼育・繁殖に組み込み、適正頭数を維持した。	A	市指定文化財である野間馬の頭数維持のため、専門機関と連携した健康管理などの各取り組みに対する体制が出来つつある。 今後も、計画的な繁殖や利活用馬の調教などの課題に対して、専門機関の知見を取り入れることにより、解決できる体制の継続を図っていただきたい。
その他業務	B	コロナ禍で動物との触れ合いなどを中止する動物園が多い中、感染対策を徹底した上で乗馬、モルモットとの触れ合いを実施した。近隣県の蔓延防止重点措置などで乗馬、モルモットとの触れ合いは休止した時期もあったが、公園自体は感染症対策を徹底したうえで開園することに努めた。 ハイランドではモルモット触れ合いや乗馬の前に手の消毒、乗馬時の防具(ヘルメット・ベスト)の消毒を徹底し、従来通り実施した。また、まきば館においても入館時にはマスク着用・消毒・体温測定の徹底を図った。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組みにより、当施設が安心・安全に運営できたことは高く評価できる。 今後も感染状況に注視しながら、施設の適切な運営に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
修繕業務	A	施設の老朽化で修繕や部品の交換をした。コロナでできなかったイベントの予算で、長年の懸案事項であった、触れ合い広場内の地面クッション材の修繕を行った。	A	当施設は老朽化が進んでいる部分が多くなってきているが、執行不要となった予算を活用し、修繕を前倒して実施できたことは評価できる。 今後も、予算の状況を見ながら臨機応変に対応していただきたい。
備品管理業務	A	施設管理上必要な備品を予算内で購入した。既存物品については定期的に点検を行いながら利用するように努め、適切に使用した。	A	馬の暑さ対策用のミスト配管設備やコロナ対策の検温器を導入するなど、適切に備品の整備ができています。 引き続き、備品の適正な購入及び管理をお願いしたい。
自主事業	B	自主事業として、コロナウイルスの感染状況を考慮しながら「のまうまの日(無料体験乗馬)」の実施や野間馬新聞の発行など、コロナ禍のなかで出来る取り組みを行った。	B	コロナ禍において、できる限りの定期的な自主事業の実施により、野間馬のPRに努めている。 今後は、感染対策を実施しながら「のまうまの日」の周知に積極的に取り組んみ、施設の利用者増となるよう努めていただきたい。
地域団体との連携	B	今治市立乃万小学校の総合学習や野間馬クラブの受け入れ、地域清掃活動への積極的な参加や地域活動への場所の提供などを通じて、地域団体と良好な関係を築いた。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の活動については実施できなかったことは残念であるが、今後も地域との連携が途絶えることのないよう、良好な関係の維持を図っていただきたい。
利用者アンケート	B	アンケート結果については満足いくものであった。利用者の満足度の高い項目については継続できるように努め、また、アンケート結果での利用者からの意見については、施設の維持管理に生かせるよう、日々のミーティングにおいて利用者の満足度向上に向けて取り組んだ。	B	施設に対して好印象であるとするアンケート結果が多く、また改善要望等についても概ね対応がなされており、評価できる。 今後も、利用者満足度の高水準を維持し、利用者意見については早期対応をお願いしたい。
事故・苦情	B	事故については、現場確認と対応を早急に実施し、再発防止に努めた。また、苦情等については、朝礼や終礼のミーティングにおいて情報共有し、問い合わせ等があった場合に、従業員全員が適切で丁寧な対応が出来るようにした。	B	けがは発生したが、重大な事故及び苦情がなく、施設を安全に運営できたことは評価できる。 万が一の状況を想定し、職員間で適切な対応が取れるよう、引き続き情報共有できる体制の構築に努めていただきたい。
指定管理者の経営状態			会計帳簿、賃借対照表及び損益計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。 指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において将来に禍根を残す可能性の高い異常値は無く、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められた。	

総合コメント(市)

指定管理者は、今治市野間馬ハイランド条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務は適正に実施されていると認められた。

令和3年度も前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の一時休園やちびっこのまうま祭りを中止とするなど、臨機応変に対応した上で、安全・安心な管理運営体制を整えることができたことは評価できる。

今後も、感染症対策の継続を図りながら、施設の適正な管理運営に期待するとともに、市指定文化財である野間馬の種の保存と利活用のバランス調整に努めていただきたい。